

戸塚 哲夫 議員

東京オリンピックに向け スポーツ振興を

問 トップアスリートの育成強化は。

答 オリンピックに本市出身者が出場することは、市民の誇りとなる。今後も各種スポーツクリニックやオリンピック出場選手による巡回指導などを実施し、スポーツ選手育成環境の充実に努めたい。

証明書交付サービスを便利に

問 コンビニでの証明書交付サービスに取り組みべきでは。

答 コンビニ交付には住民基本台帳カードが必要だが、平成28年1月に社会保障・税番号制度による個人番号カードに切り替わる。この時期に合わせてコンビニでのサービスが受けられるようシステムの構築を検討していきたい。



総合証明自動交付機

自転車の交通安全対策は

問 改正道路交通法を市民にどのように周知し、自転車利用者の安全を図っていくのか。

答 交通指導隊や交通安全連合会などと連携し、街頭指導や交通安全講習会を通して通ルールの遵守を周知するとともに、車道の外側線（路側帯）を引いたり自転車の安全な運行を確保するスペースを設けたりする努力をしたい。

山田 貴子 議員

子ども達が 健やかに育つための取組は

問 青少年補導人数増をどのように受け止め、再発防止をどのように取り組んでいるのか。

答 大変深刻な問題であると認識している。生徒指導推進委員会を設置し、警察や児童相談所と連携しながら温かい指導を繰り返し、学校、家庭、地域が連携して非行防止や健全育成に取り組んでいきたい。

学力向上に向けての取組は

問 全国学力・学習状況調査小6国語A最下位問題に対する当市の取組は。

答 学力向上推進委員会を設立し、幅広い視点から協議してもらおう。来年度調査対象となる小5と中2が今年度のテスト問題に取り組み、教員が採点して授業改善に生かすようにしたい。

国道1号線にIC新設を

問 広愛大橋北の久津部交差点は、日に百台以上のトラックが往来するが、下りインターが久能しかない。新設を要求すべきでは。

答 バイパスの側道もあり、久能ICへのアクセスが容易に出来ることから、新設は難しいと国土交通省は回答しているが、技術的な事も含めて粘り強く働きかけていきたい。



青少年健全育成事業 小笠山自然観察教室